HKトランスポート 株式会社

大阪府泉佐野市上瓦屋 482 番 1
URL：https://www.hk-transport.co.jp

幅広い品目を迅速・確実・安全に運送 周囲を大切にさらなる成長を目指す

迅速・確実・安全をモットーに、顧客の物流パートナーとして大阪を拠点に歩んでいる『HKトランスポート』。2012年に大阪市内で個人事業として創業し、2015年に小井社長の地元である泉佐野市で法人設立を果たした企業だ。本日は元WBC世界バンタム級チャンピオンの山中慎介氏が訪問し、社長にお話を伺った。

小井 広希 代表取締役 × **山中 慎介** 元WBC世界バンタム級チャンピオン

対談 interview

――はじめに、小井社長の歩みからお聞かせ下さい。

実は、私の前職はカレー専門店での勤務でした。5年ほど働く中で調理師免許も取得しましたし、カレー屋で独立するという夢もあったんです。

――随分違った分野で独立を志しておられたんですね！ それが何故、運送のお仕事に？

独立資金を貯めるために、給料の良い運送会社に転職したんです。その会社の社長との出会いが、ターニングポイントになりました。社長は私を鍛えるため、意図的にきつい現場に放り込んで下さいました。男気のある社長に惚れ込んで運送の仕事に没頭する中、周りから運送業での独立を勧められるようになったんです。そして、独立資金で軽車両を1台買い、個人事業を立ち上げたのが2012年でした。社長との出会いで人生が大きく変わりましたし、私にとっては大恩人。感謝しています。

――人生、人との出会いで大きく動くものですよね。スタートされていかがでしたか。

独立後は3社と取り引きを開始しまして、初めてそれぞれの会社から入金があった時には、銀行で人目をはばからずに涙してしまいました（笑）。もちろんそこから経費を引くのですが、「自分の力で稼いだお金なんだ」と思うと、感慨深かったですね。

――頑張ってきた成果ですからね。

努力をすれば結果はついてくる――そう思ってがむしゃらに働き、そのうちスタッフも入ってきてくれました。その中で信用も得ることができ、皆さんに助けてもらって、2015年には法人化も致しました。創業からの約10年、無我夢中で歩んできたので、振り返ってみるとあっという間でしたよ。

――それだけ集中し、充実した時間を過ごしてこられたということですね。

お陰さまで現在スタッフは22人、車も20台になりました。人数が増えれば増えるほど責任も増しますが、皆の手本となるように真摯に頑張っていくだけですね。スタッフは平均年齢が30代と若いですし、私自身も42歳なのでまだまだ現役。皆と一緒に現場に出て顔を合わせ、皆と同じ目線で行動するように心がけています。

――それだけお若い集団なら、ガッツがあってまだまだ伸びしろがあるでしょう。

ありがとうございます。同業他社が多い業界ですので、皆さんに選んでいただけるように、当たり前のことですがまず安全な運送を徹底しています。そして、航空貨物、電化製品、介護用品、薬剤など幅広い輸送品目に対応できるよう、様々な種類の車両を持っています。今後もさらに会社を成長させ、取引きのある方々や協力関係のある業者さんの期待に応えていくつもりです。そして雇用環境などもさらに充実させて、スタッフの皆に「ここに入って良かった」と言ってもらえる会社にしたいですね。

guest comment

「恩人の社長さんへの感謝はもちろん、周りの方々やスタッフさん思いな言葉もたくさん聞くことができました。小井社長の誠実なお人柄が感じられましたね！」

© 2021 USP-Management Co., Ltd.